

千住元町町会

地 区 防 災 計 画

震 災 対 策 編

平成 29 年 3 月 13 日

千住元町町会

千住元町町会 地区防災計画 震災対策編

目次

1. 地区防災計画の策定について	
(1) 地区防災計画とは	1
(2) 計画の策定方法と経緯	2
(3) 話し合いで検討事項	2
2. 地区特性の把握	
(1) 地形	3
(2) 都市基盤	4
(3) 土地、建物利用状況	5
(4) 人口	7
3. 被害想定	
(1) 首都直下地震の被害想定	9
(2) 東京都の液状化予測	10
(3) 地震に関する地域危険度	11
4. 防災まち歩き	
(1) まち歩きの準備	12
(2) まち歩きの実施	14
(3) まち歩きの結果	15
(4) マップの作成	16
5. 災害時の応急対応シナリオ	
(1) 震災時の応急対応（自助）	18
(2) 震災時の応急対応（共助）	20
6. 地区の特徴的な取り組み	
(1) 取り組みテーマの設定	22
(2) 特徴的な取り組み	23
7. 事前対策と体制づくり	
(1) 事前対策	25
(2) 体制づくり	27
8. 実践と検証	28

1.地区防災計画の策定について

(1)地区防災計画とは

「地区防災計画」は、身近な地区の防災力の向上を図るため、地区の皆さん共同して自発的な防災活動の内容を定め、提案することができる制度※1です。

※1 災害対策基本法第四十二条の二に定められている。平成25年6月に創設されたもの。

これまでの自主防災組織等による防災計画との違いは、「地区防災計画」を「足立区地域防災計画」に位置付けることが可能になった点です。

これによって、常日頃から、地区防災活動への区からの支援※2が得られることになります。いざという時には、「地域防災計画」に基づいた区の防災活動と並行して、地区の皆さん「地区防災計画」に沿って活動することになります。こうして、災害時における区と地区の連携が強まります。

※2 区は、地区防災計画の策定を支援します。また、地元と協働して、区の「具体的事業計画」(防災活動に従事する人材の育成、防災に関する普及啓発、防災訓練の実施、情報連絡体制の整備、防災に必要な物資や資器材等の確保、消防団との連携体制の強化等)に反映します。

「足立区地域防災計画」より

私たちの千住元町町会は、建物が密集し、古い建物や木造の建物が多く、震災時の倒壊や火災の延焼の危険性が高い地区です。また、震災時に利用できる道路が狭く公園が不足するなど、東京都の調査でも地震被害における危険度が高い地域です。

そこで、千住元町町会は、自助・共助による地域防災力を向上させ、地区の被害を軽減することを目的に、「千住元町町会地区防災計画（震災対策編）」を策定いたしました。

(2)計画の策定方法と経緯

地区の代表が集まって話し合い(ワークショップ方式)により地区防災計画の検討を行いました。千住寿町南町会では、周辺の町会と一緒に「防災まちづくり勉強会」を行ってきたことから、この勉強会を活用して地区防災計画を検討することにしました。

検討にあたっては、区とコンサルタントが支援しました。

地区防災計画の検討は、千住大川町東町会、千住大川町西町会、千住大川町南町会、千住元町町会、千住寿町南町会（まとめて「千住地域」と記載します）が一緒に検討を進めました。

検討で得られた結果をまとめて「地区防災計画（素案）」を作成し、地元の説明会でその内容を説明しました。その後、区の防災会議で審議の上、正式に決定しました。

千住地域 地区防災計画策定の経緯

年月日	検討、説明会等	内容
平成 28 年 3 月 6 日	防災まちづくり勉強会 スタートアップ会議	勉強会の成果(地区特性、被害想定等)を活用
8 月 6 日	千住地域防災まち歩き	千住寿町南町会が実施
9 月 26 日	防災まちづくり勉強会	千住地域の地区防災計画(地震対策編)策定について確認
10 月 29 日	千住地域防災まち歩き	千住大川町東町会、千住大川町西町会、千住大川町南町会、千住元町町会が実施
12 月 5 日	ワークショップ	地区ごとに防災課題の対応策を検討
平成 29 年 2 月 9 日	地元説明会	「地区防災計画(素案)」について
3 月 13 日	足立区防災会議	地区防災計画(素案)の審議

▼
「地区防災計画」決定、公表

(3)話し合いで検討した事項

地区の皆さんによる話し合いでは、計画策定項目について次のように検討しました。

計画策定項目	話し合い	検討事項
1.地区防災計画の策定について	○防災まちづくり勉強会スタートアップ会議(平成 28 年 3 月)	・地震に強くする防災まちづくりの話 ・皆で大規模地震時被害想定の試算を行い、避難ルートを考える
2.地区特性の把握		・地区防災計画(震災対策編)の策定について
3.被害想定	○第 3 回千住西地区まちづくり勉強会(平成 28 年 9 月)	
4.防災まち歩き	○千住地域防災まち歩き(平成 28 年 8 月～10 月)	・まち歩き、結果の話し合い、発表 ・地区ごとの防災課題の抽出
5.災害時の応急対応シナリオ	○ワークショップ(平成 28 年 12 月 5 日)	・まち歩きの振り返り ・地区ごとの防災課題の対応策
6.地域の特徴的な取り組み		
7.事前対策と体制づくり		
8.実践と検証		

2. 地区特性の把握

(1) 地形

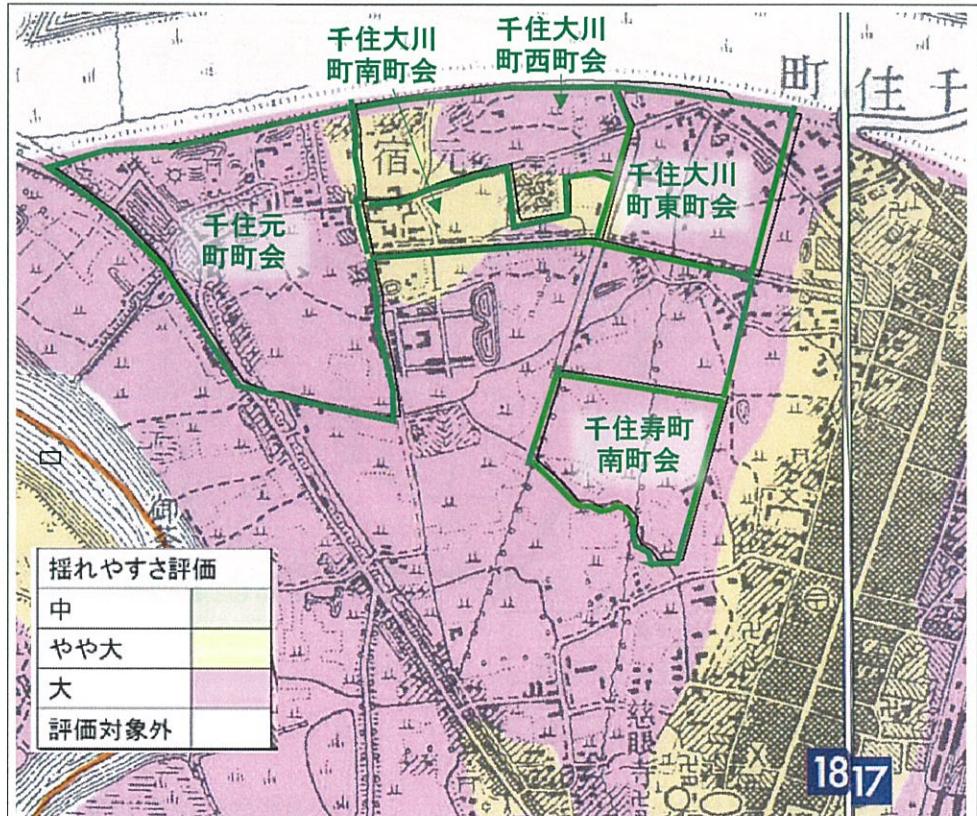
荒川と隅田川の過去幾度かの氾濫によってつくられた盛土地・埋立地（荒川氾濫低地）が分布し、所々にまわりよりもわずかに高い自然堤防が形成されています。

盛土地・埋立地は、軟弱な粘土やシルトが厚く分布しているため、地震時には揺れやすいとされています。

土地条件図



旧版地図 揺れやすさ評価図



「首都大地震ゆれやすさマップ 2013年（旬報社）」より

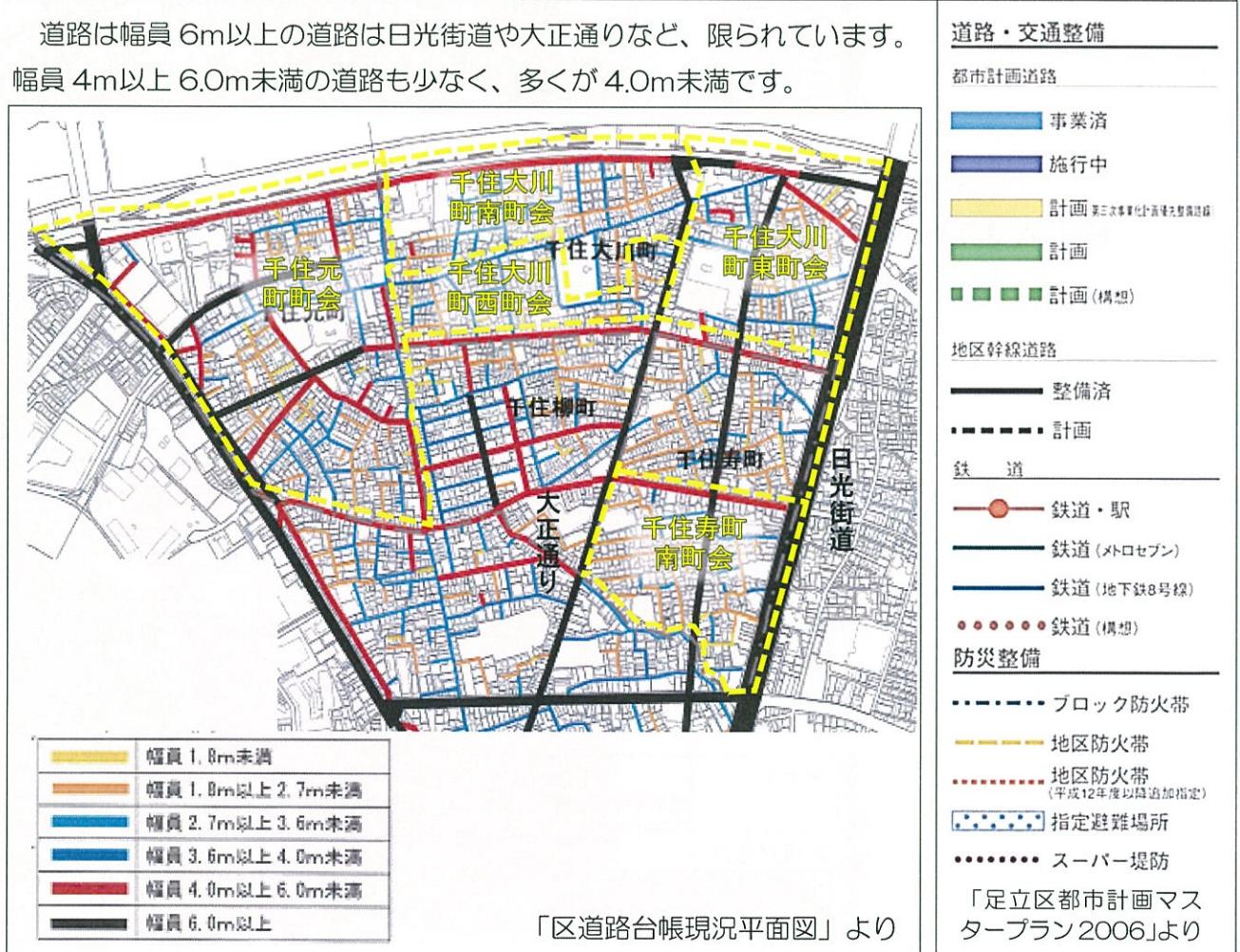
(2)都市基盤

南北方向に日光街道が通っています。

鉄道は、北千住駅にJR 常磐線、地下鉄千代田線、日比谷線、東武伊勢崎線、つくばエクスプレスが乗り入れています。



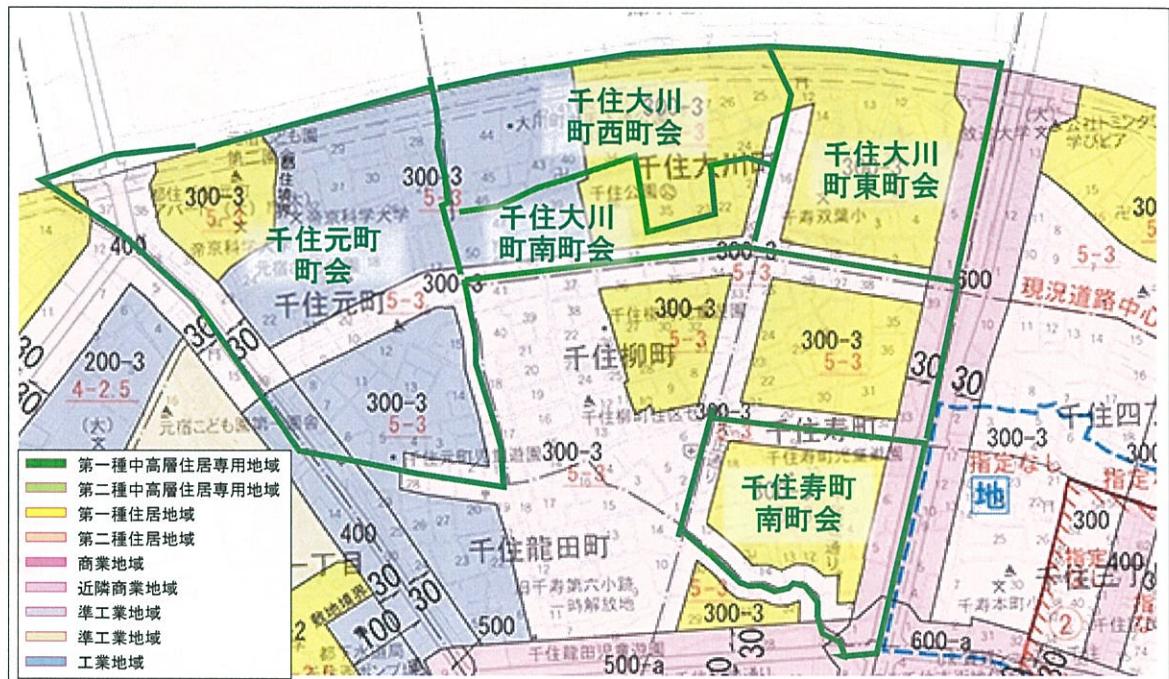
道路は幅員 6m以上の道路は日光街道や大正通りなど、限られています。
幅員 4m以上 6.0m未満の道路も少なく、多くが 4.0m未満です。



(3) 土地、建物利用状況

■用途地域

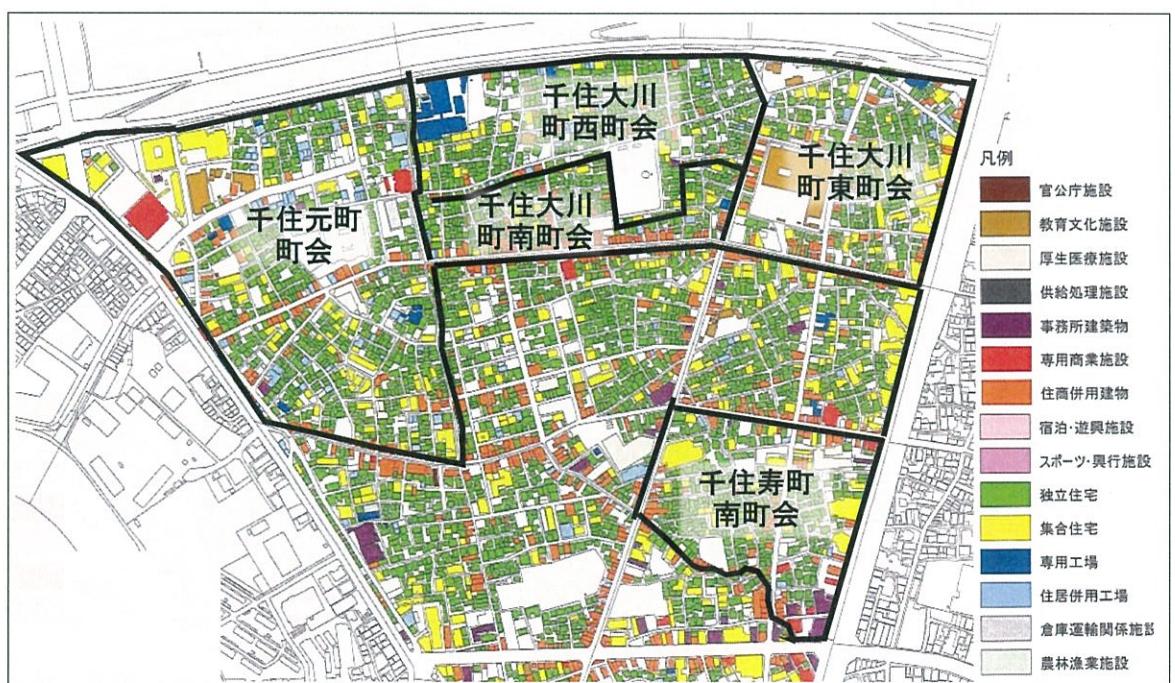
日光街道沿いが商業地域に指定されています。また、千住柳町と千住龍田町の一部及び町会の境界を通る主要な道路沿いには近隣商業地域が指定されています。このほかは、第一種住居地域と準工業地域に指定されています。



足立区「都市計画用途地域図」より

■用途別建物現況

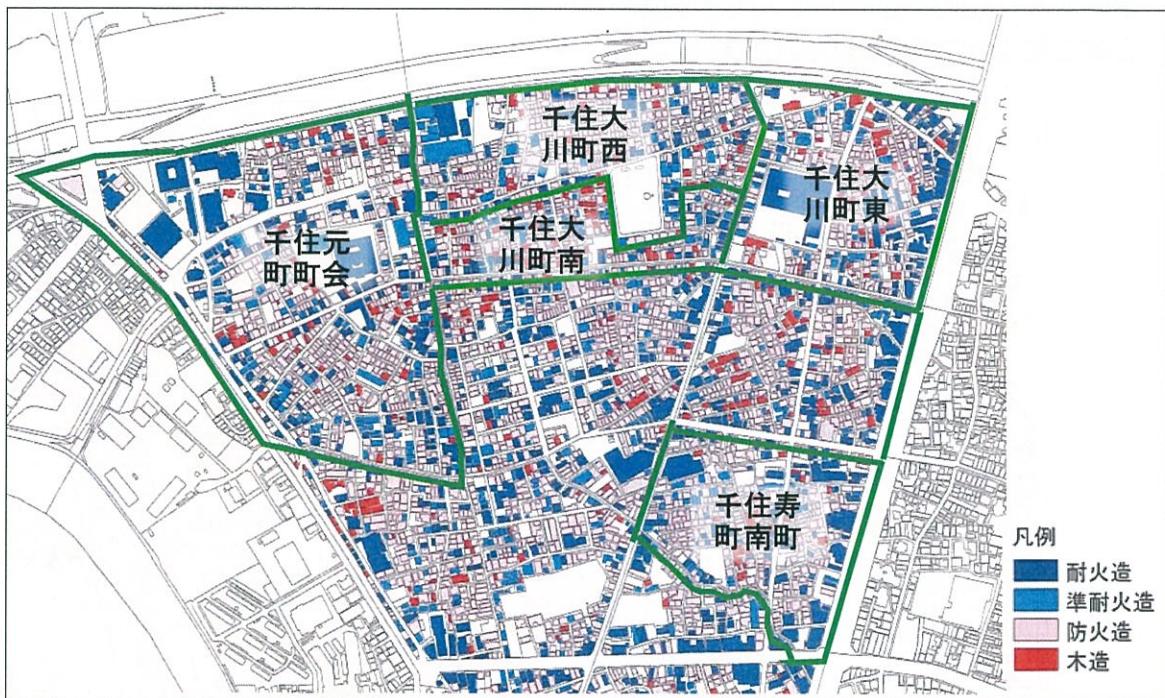
主な建物用途は住宅系です。独立住宅が多くを占め、その中に集合住宅が散在しています。日光街道沿いと千住元町町会の北側（荒川寄り）には集合住宅のまとまりがあります。



「平成 23 年土地利用現況調査」より

■構造別建物現況

地区のほとんどが防火造、耐火造、準耐火造の建物で、木造は少ない状況です。



「平成 23 年土地利用現況調査」より

■階数別建物現況

日光街道沿いと千住元町町会の北側（荒川寄り）には地上 4、5 階建て以上の建物がまとまっています。その他は、上 2 階建てが多く、部分的に 3 階建て以上が散在しています。

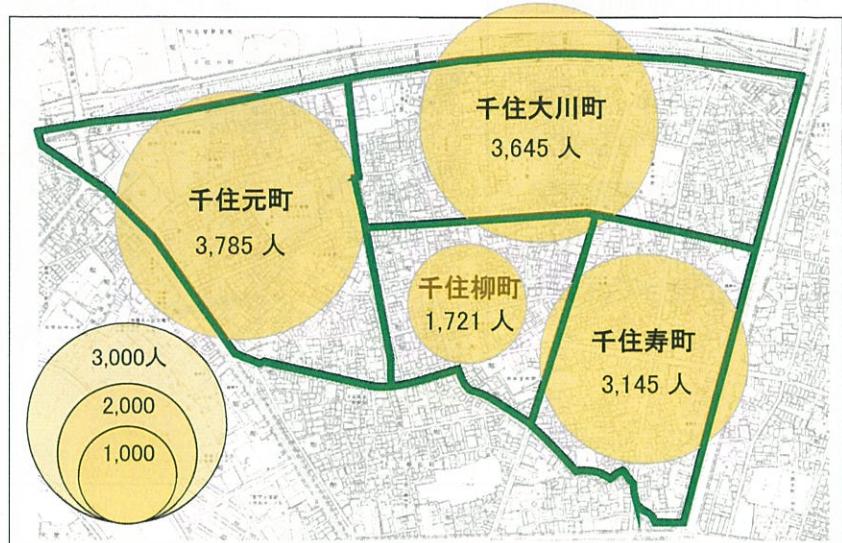


「平成 23 年土地利用現況調査」より

(4)人口

■町丁目別の人団

千住元町が3,785人、千住大川町が3,645人、千住寿町が3,145人、千住柳町が1,721人です。



「平成27年住民基本台帳人口」より

■人口の推移

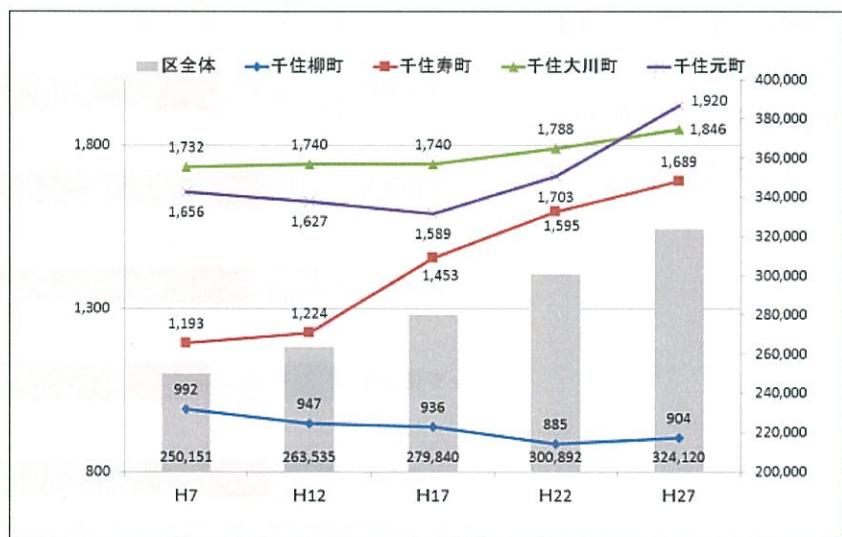
平成7年から平成27年までの20年間で人口が増えたのは千住元町と千住寿町です。千住大川町と千住柳町は人口が減少しています。



「各年住民基本台帳人口」より

■世帯数の推移

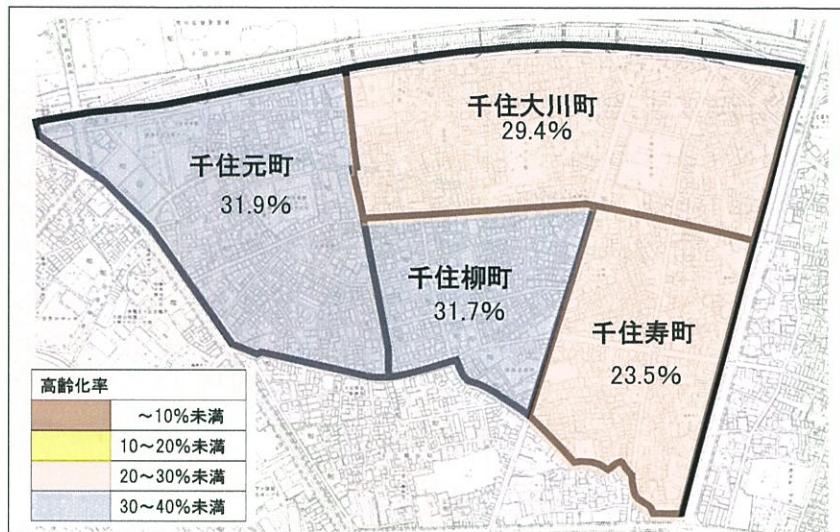
平成7年から平成27年までの20年間では、千住元町、千住大川町、千住寿町、千住柳町のすべての町丁目で世帯数が増えています。



「各年住民基本台帳人口」より

■高齢化率

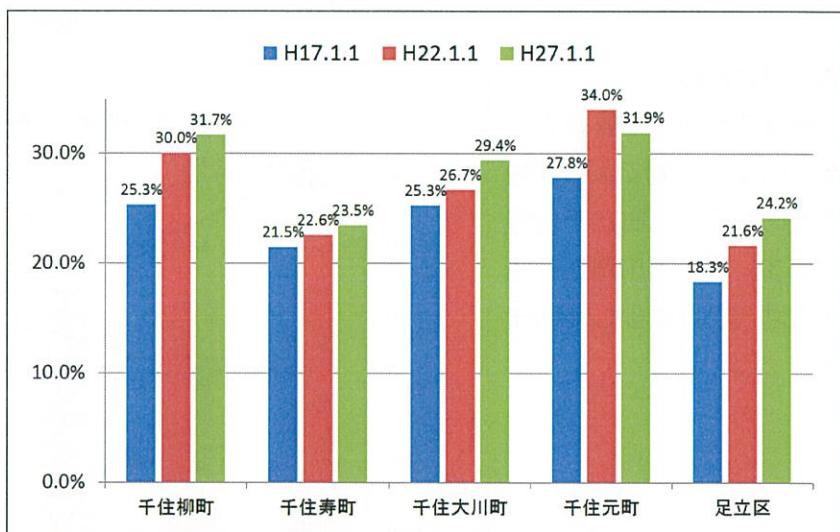
町丁目別の高齢化率は、千住元町が31.9%、千住大川町が29.4%、千住寿町が23.5%、千住柳町が31.7%と、千住寿町を除いて、足立区平均の24.2%を上回っています。



「各年住民基本台帳人口」より

■高齢化率の推移

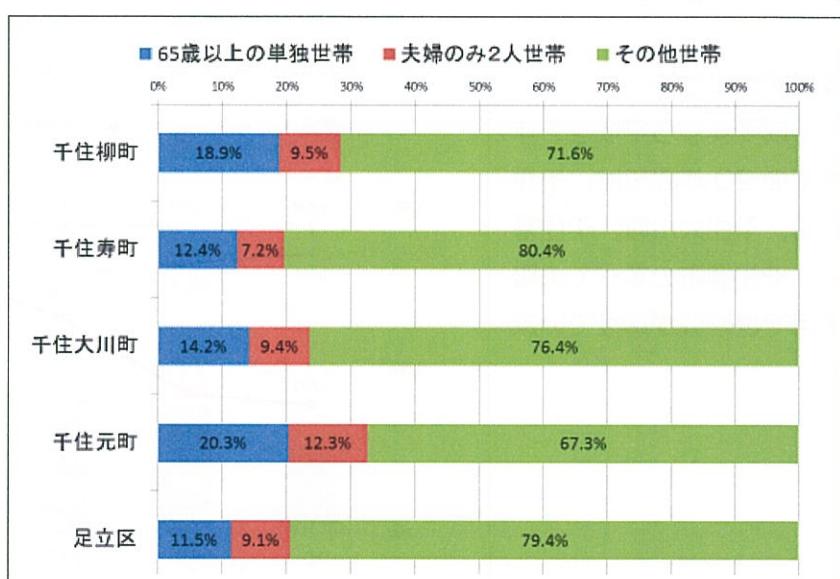
平成17年から平成27年までの10年間でみるとすべての町丁目で高齢化率の上昇がみられます。



「各年住民基本台帳人口」より

■高齢単身世帯等の割合

各町丁目では65歳以上の単独世帯が12.4%から20.3%で、足立区平均の11.5%を上回っています。



「平成22年国勢調査」より